

1.化学物質等及び会社情報

製品名 さび添加防錆剤 NEO
種類 水性エマルジョン錆止め処理剤
会社名 石川ペイント株式会社
住所 大阪市淀川区加島4丁目18番31号
作成日 2023年7月4日

担当部門 本社工場 技術部
電話番号 06-6301-5431
FAX番号 06-6306-0272

2.危険有害性の要約

【GHSの分類・危険有害性情報】

GHS分類		危険有害性情報
引火性液体	区分2	引火性の高い液体及び蒸気
急性毒性	経口 経皮 吸入:ガス 吸入:蒸気 吸入:粉塵, ミスト	区分に該当しない 分類できない 分類できない 分類できない 分類できない
皮膚刺激又は腐食性	区分2	皮膚刺激
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2	強い眼刺激
呼吸器感受性	固体/液体 気体	分類できない 分類できない
皮膚感受性		分類できない
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
授乳に対する又は授乳を介した影響		
特定標的臓器(単回ばく露)		分類できない
特定標的臓器(反復ばく露)		分類できない
誤えん有害性		分類できない
水生環境有害性(急性)		分類できない
水生環境有害性(慢性)		分類できない
オゾン層への有害性		分類できない

【GHSラベル要素】



【注意喚起語】

警告

【注意書き】**安全対策**

- ・取り扱い後は、うがいをして、手、顔などを良く洗うこと
- ・この製品を使用する時には、指定された個人用保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)及び作業衣を着用すること。

応急措置

- ・皮膚に付着した場合: 多量の流水/シャワーで洗うこと。
- ・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診断/手当を受けること。
- ・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- ・眼に入った場合は: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

保管

- ・製品の品質保護のため、5℃以下又h30℃以上になる場所には保管しないこと。
- ・容器は密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。

廃棄

- ・内容物及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

3.組成・成分情報**【物質】**

化学物質・混合物の区分	: 混合物
化学名又は一般名	: 水溶性ラテックス、タンニン酸の混合物
CAS.No	: 原料は登録済み
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: 原料は登録済み
含有量	: フッ素及びその水溶性化合物: 0.2%以下含有 : 蔞酸: 0.2%以下含有 : 他非公開

4.応急措置**【吸入した場合】**

- ・空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合、速やかに医師の診察/手当を受けること。

【皮膚に付着した場合】

- ・汚染された衣服や靴を脱ぎ、製品に触れた部分を多量の水で15分以上洗浄すること。
- ・洗浄後も異常が認められる場合は医師の診察/手当を受けること。
- ・汚染された衣類は着替え、再使用する場合には洗濯すること。

【目に入った場合】

- ・直ちに清浄で適温の緩やかな流水で15分以上洗浄すること。
- ・コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。
- ・速やかに医師の診察/手当を受けること。

【飲み込んだ場合】

- ・無理に吐かせず速やかに医師の診察/手当を受けること。
- ・口の中が汚染されている場合には水で十分洗うこと。

※いずれの場合においても直ちに医師の診察/手当を受けること。

5.火災時の措置**【消火剤】**

- ・水、炭酸ガス、ハロゲン化物、粉末消火剤

【使ってはならない消火剤】

- ・知見なし

【特有の有害危険性】

- ・毒性又は腐食性の気体が発生する可能性がある。

【消火方法】

- ・消火活動は風上より行う。
- ・容器を放水により冷却すること。

【消火方法】

- ・適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用すること。

6.漏出時の措置

【人体に対する注意事項】

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・必要に応じた換気を確保すること。
- ・着火した場合に備えて、消化器剤を準備すること。
- ・多量の場合、人を安全な場所に避難させること。

【環境に対する注意事項】

- ・河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する

【封じ込め及び浄化の方法・機材】

- ・漏出物は、密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・多量の場合には可能な限りせき止めし、ポンプなどで回収すること。
- ・盛土で困って流出を防止し硫酸バンドや塩化カルシウム水溶液を加えて凝固させる。凝固物は密閉容器に回収し、液体分は砂、ウエス等で吸収させ密閉容器に回収する。凝固物は廃棄物の処理及び清掃に関する法律の施行令第6条にしたって、セラム分が水質汚濁防止法施行令第3条にしたがって処理する。
- ・少量の場合、砂、ウエス等で吸収させ密閉容器に回収する。

7.取扱及び保管上の注意

【技術的対策】

- ・皮膚、眼への暴露防止のため、長袖の作業衣を着用し、適切な保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を装着すること。
- ・製品のミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- ・製品は洩れ、あふれ、飛散しないよう注意して取り扱うこと。
- ・取り扱い後にうがいをし、手、顔などを良く洗うこと。
- ・容器の転倒、落下、衝撃、引きずりなどの乱暴な取扱をしてはならない。こぼれないように取扱う。
- ・使用する前にはよく攪拌すること。

【局所廃棄、全体換気】

- ・十分な排気下で取り扱う。必要に応じて局所排気設備を用いること。

3/6

【保管上の注意事項】

- ・使用の都度容器を密閉する。
- ・密閉容器に入れて保管する。保管容器は耐腐食性の材料を使用する。
- ・容器は施錠した換気の良い、暗冷所に所定の場所を定めて保管する。
- ・5℃以下、30℃以上で保管しない。
- ・アルカリ性物質と一緒に保管しないこと。
- ・湿気の多い場所で保管しないこと。

【容器包装材料】

- ・消防法及び国連輸送法規に規定されている容器を使用すること。

8.暴露防止および保護措置

【管理濃度・許容濃度】

成分名	管理濃度 (厚生労働省)	許容濃度 (日本産業衛生学会)	ACGIH TLV-TWA
酸性弗化ナトリウム	設定されていない	設定されていない	2.5mg/m ³
蓚酸	設定されていない	設定されていない	1.0mg/m ³

【設備対策】

- ・換気設備又は局所排気設備を用いる。

【呼吸器の保護具】

- ・呼吸用保護具を着用する。

【手の保護具】

- ・皮膚への接触を避けられる保護手袋を着用する。

【目の保護具】

- ・ゴーグル型もしくは側板付き普通眼鏡型を着用する。

【皮膚および身体の保護】

- ・皮膚への接触を避けられる耐薬品性の保護衣を着用する。

3/5

9.物理的および化学的性質

状態	液体	自然発火温度	データなし
色	乳白色	蒸気密度	データなし
臭気	特異臭	溶解度	水溶性
密度(20°C)	1.04 (g/cm ³)	融点・凝固点	データなし
蒸気圧	データなし	分解温度	データなし
pH	3.9(原液、20°C)	n-オクタノール/水分配係数	データなし
沸点	データなし		
引火点	測定不能		
爆発限界	データなし		

10.安定性および反応性

【安定性】

通所湯の使用下では安定。

【避けるべき条件】

通常安定である。酸性物質なのでアルカリ性物質との接触を避ける。

【混触危険物質】

アルカリ性物質

【危険有害な分解生成物】

分解時に一酸化炭素、二酸化炭素を発生する。

11.有害性情報

GHS区分	有害性情報
急性毒性(経口) LD50(mg/kg)	区分該当しない 2000mg/kg以上(ATEmix)
急性毒性(経皮) LD50(mg/kg)	分類できない データなし
急性毒性(吸入) LD50	分類できない データなし
皮膚腐食性/ 刺激性	区分2 区分1に該当する原材料が1%以上5%未満含有するため
眼に対する重篤な 損傷性/眼刺激性	区分2 区分1に該当する原材料が1%以上5%未満含有するため
呼吸器感作性	分類できない データなし
皮膚感作性	分類できない データなし
生殖細胞 変異原性	分類できない データなし
発がん性	分類できない データなし
生殖毒性	区分2 区分2に該当する成分が0.1%以上0.2%以下含む。
特定標的臓器/全身毒性 (単回ばく露)	分類できない データなし
特定標的臓器/全身毒性 (反復ばく露)	分類できない データなし
吸引呼吸器 有害性	分類できない データなし
水生環境有害性 (急性)	分類できない データなし
水生環境有害性 (慢性)	分類できない データなし

12.環境影響情報

- ・生態毒性 : 情報なし
- ・残留性/分解性 : 情報なし
- ・土壌中の移動性 : 情報なし
- ・生態蓄積性 : 情報なし
- ・オゾン層への有害性 : 情報なし

13.廃棄上の注意**【残余廃棄物】**

- ・「7.取扱及び保管上の注意」を参照
- ・廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、又は地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理すること。

【汚染容器および包装】

- ・内容物を完全に除去した後、法規に従い産業廃棄物処理業者などに処分を委託する。

14.輸送上の注意**【国内規制】**

- ・陸上規制情報：労働安全衛生法、消防法などに定められている輸送方法に従う。
- ・海上規制情報：船舶安全法に定められている輸送方法に従う。
- ・航空規制情報：航空法に定められている輸送方法に従う。
- ・特別の安全対策：運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

【国内規制】

国連番号：3265
 国連分類：クラス8(腐食性物質)
 容器等級：容器等級Ⅲ

15.適用法令

- | | |
|-------------------------------------|---|
| ・消防法 | 非該当 |
| ・化学物質の審査および製造等の規制に関する法律(第2種特定・監視物質) | 非該当 |
| ・化学物質管理促進法(PRTR) | 非該当 |
| ・労働安全衛生法(通知) | フッ素及びその水溶性化合物(通知対象物質No.487)：0.2%以下含有
砒酸(通知対象物質No.304)：0.2%以下含有 |
| ・毒物及び劇物取締法(毒劇法) | 非該当 |
| ・船舶安全法 | 腐食性物質 有害液体物質 |
| ・航空法 | 腐食性物質 |
| ・海洋汚染防止法 | 有害性液体 Z類物質 |
| ・水質汚濁防止法 | 有害物質(フッ素及びその化合物) |

16.その他の情報**【参考文献】**

- ・国連GHS文書 改定6版(2015)
- ・JIS Z7252:2019「GHSに基づく化学物質等の分類方法」
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)公開データ

【注意】

- ・本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報(危険有害性・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したのものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
- ・本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
- ・本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。